

平成19年度 学校教育自己診断診断（保護者分）集計結果報告

先日実施しました学校教育自己診断アンケートの結果を報告いたします。以下はアンケート集計結果の概要で、アンケート集計結果の詳細は別紙のとおりです。アンケートの結果については、今後の本校の教育活動の改善に役立てていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

1. アンケートについてのご意見

今回のアンケートについて、主に以下の二点のご指摘がありました。

第一に、『ふつう』・『どちらともいえない』などの選択肢がなく、回答しにくいというご意見がありました。選択式アンケートの場合、一般に『ふつう』に相当する選択肢があると、無意識にその選択肢を選んでしまい、そこに回答が集中する傾向があると言われております。そのため、今回のアンケートでは『ふつう』に相当する選択肢を設けませんでした。回答しにくい点がありましたことを、ご容赦下さるようお願いいたします。

第二に、『学校経営に関するもの』など、回答しにくい項目があるとのことのご意見をいただきました。これにつきましては、今後、学校についての情報をお知らせする機会を増やすよう努めます。同時に、次年度以後のアンケート実施の際、質問項目を絞り込むなど、改善を行います。

2. 全般的な状況

アンケートの集計結果から、比較的評価の高かった項目と評価の低かった項目を挙げると下記ようになります。

【評価が比較的高かった項目】

回答のうち、1（よくあてはまる）と2（ややあてはまる）の合計が70%以上のもの

設問番号	特徴ある回答	1+2の割合
問1	○子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。	73.5%
問3	○学校の雰囲気がよく、生徒が生き生きしている。	75.6%
問21	○文化祭や体育祭・宿泊行事などの学校行事は、積極的に参加できるよう工夫されている。	78.7%
問26	○子どもは、学校に友達がいるといっている。	82.8%
問36	○学校は、保護者や地域の人が授業を参観する機会を設けている。	70.1%

【評価が低かった項目】

回答のうち、1（よくあてはまる）と2（ややあてはまる）の合計が40%以下のもの

設問番号	特徴ある回答	1+2の割合
問8	×子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	34.4%
問19	×進路指導面で、学校は家庭への連絡や意思疎通を、きめ細かく行っている。	39.1%
問33	×学校の施設・設備は学習環境面でほぼ満足できる。	33.7%
問34	×学校は施設・設備を有効に利用している。	39.9%
問35	×学校は、防災や防犯、事故防止に配慮し、施設・設備の点検を行っている。	35.4%
問42	×PTA活動には参加しやすい。	35.0%
問43	×学校は、盲・聾・養護学校との交流の機会を設けている。	16.5%

(1) 評価が比較的高かった項目について

《問1. 子どもは学校に行くのを楽しみにしている。》・《問2. 学校の雰囲気がよく、生徒が生き生きとしている。》などについて、70%以上の方から比較的高い評価をいただきました。

また、《問21. 文化祭や体育祭・宿泊行事などの学校行事は、積極的に参加できるよう工夫されている。》にも高い評価をいただきました。『最近の学生には珍しく、体育祭や文化祭等の学校行事をカ一杯、生き生きとしているのに驚きました。』とのご意見もありました。

生き生きとした高校生活や自主的・積極的な活動ができるよう、今後も学校として一層の支援をしていきます。

《問36. 学校は、保護者や地域の方が授業を参観する機会を設けている。》についても比較的高い評価をいただきました。一方『参観の時、参観できる日数・時間が多いのは良いが、逆に行きにくい。』のように、参観に困難を感じておられる保護者の方もおられました。参観の機会や日数を確保しつつ、参観しやすい方法について、今後、保護者の方のご意見を伺うなどして、改善を考えていきたいと考えています。

(2) 評価が低かった項目について

《問8. 子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。》のように授業についての項目が低い評価となっています。

生徒に対するアンケート結果でも《授業がわかりやすく楽しい》・《教え方に工夫している先生が多い》などの項目が低い評価になっていました。一方、同アンケートの結果によると、授業のスピードが『やや速い』という回答や、授業の難易度が『やや難しい』との回答が多数を占めました。生徒に対するアンケートにも『ちょうどよい』の選択肢がなかったことから、本校の授業の進度・難易度は概ね適切であると思われます。

今後は現在の進度・難易度を維持する一方で、日々の授業を改善し、生徒の積極的な参加を促すことが本校の課題になっていることがわかります。

《進路指導面で、学校は家庭への連絡や意思疎通を、きめ細かく行っている。》は、1年生→2年生→3年生の保護者と学年が上がるに従って、肯定的な評価が増加していますが、全体的には低い評価に留まりました。

『学校からの配布物が少ない。』・『学校でのいろいろな説明会等…』（に参加できない場合の対策）についてのご要望やご意見もありました。学校では従来から機会あるごとに配布物を発行し、学校の情報について生徒を通じてご家庭にお伝えしてきたところですが、進路に関わる情報を含め、学校の情報をお知らせする方法や機会をより充実させることが課題であると考えます。保護者の方の携帯電話に学校からメールマガジンを送付させていただくような取組も、今後検討していきたいと考えています。

また、《問42. P T A活動には参加しやすい。》に対する評価も低くなっています。P T A活動がより参加しやすいものになるよう、保護者の皆様とともに考えていきたいと思えます。

《問33. 学校の施設・設備は学習環境面でほぼ満足できる。》に対する評価が低くなっています。本年度、施設・設備の改善について以下の取組を行っています。

生徒に対するアンケートの自由記述欄の回答に『椅子と机を離してほしい』という意見が多数ありました。これを受けて大阪府の教育委員会と交渉を重ねた結果、連結机を使っているホームルーム教室の机を年度内に全て入れ替える方向で話を進めています。『校舎が汚いのできれいに改装してほしい』という多数の意見に対して、北館の一部の改装が実現しました。また、図書館の机を新しいものに入れ替えてもらえることになりました。今後も、施設・予算などの面で可能な限り改善に努めたいと考えています。

《問35. 学校は、防災や防犯、事故防止に配慮し、施設・設備の点検を行っている。》に対する評価が低くなっています。本校では従来から予算の許す限り、施設・設備等の修理に迅速に対応してきました。また、大清掃時の安全点検、机上訓練と実地訓練の年二回

の避難訓練を実施してきました。今後も安全点検の綿密な実施や防犯体制の整備などにより、一層迅速な対応を行いたいと思います。

(3) 回答全般に対して

《問30. 学校は外国から来日した生徒や保護者に対して十分に支援している。》の他、いくつかの質問については、無回答の割合が高かったものがありました。実際は保護者の方に留学生のホームステイをお願いするなど、学校としての取り組みを行っています。

無回答の割合が高かった原因として、情報提供の不足が考えられます。情報をお知らせする方法や機会をより充実させることで、学校について知っていただくよう努めます。

3. 意見のコーナー（自由記述欄及び診断票に対する意見）について

自由記述欄には多くのご意見をいただきました。一部の意見については上記「2. 全般的な状況」に引用させていただきました。

学校の教育活動に対して好意的な意見をいただく一方で、不十分な点についてのご指摘もいただきました。書いていただいたご意見を踏まえ、今後の学校改善に役立てたいと思います。すぐに改善できるものについては早急に取り組んでまいります。ただ、ご意見の中には施設・予算などの関係で実現に時間がかかるものや、当面は改善が困難ものがありますのでその点についてはご理解下さい。